

コロナ禍となり、リーダーシップのもつ重要性が一層高まっています。

ある意味、一人一人がリーダーです。時にはフォロアー、時にはリーダーなのです。

理論から実践へ。ジョン・C・マクスウェル氏の著『『人の上に立つために本当に大切なこと』より、リーダーシップについて学びたいと思います。

マクスウェル氏（以下、氏）は、冒頭の「はじめに」で次のように語っておられます。

「リーダーシップしだいで組織は隆盛もすれば衰退もする。本物のリーダーシップは内面から開発されるべきものだ。内面的に理想のリーダーになることができれば、外面的にも理想のリーダーになることができる。」

氏は、すべての偉大なリーダーたちが実践している、21の法則をリストアップし、具体的に説明しておられます。今日は、始めの3つを紹介します。

◆1 「人格」

- ・リーダーシップとは、人びとに自信を与える人格のことである。

◆2 「カリスマ性」

- ・人と接するとき、相手に好かれるようにふるまうのではなく、相手が自分自身を好きになるようにふるまえばよい。

◆3 「不屈の精神」

- ・夢想する者ではなく、実行する者になる。